

あ 曙ははるか古代の眸い忙しい閑人の凸凹午後う梅干のせりふの真実え鉛筆ゴジラ
対消しゴムごじらお音楽はオカルトの使徒か鍵をかける背から旅き麒麟の角が破る
幻想く葉売り希望を売るけ警察も迷子になる立法どや街こコウモリとかはほりの混
声合唱さ桜の木乃伊の性のめざめし新聞の蜃気楼を砲撃するすスパゲティを口説く
砂時計せ洗濯バサミのような愛そそば屋のうどん井屋のカレーた滝は立つ奈落の
速度ち地図の地下に血の文字つ杖ついて和尚はどこへでもゆくて天命を待つ赤子と
八十翁と鳥籠にライオンな名前を忘れて取りに戻るにニンニクにも義ありぬ沼から
コンプレクスが現れるね狙いを定めて鳩を放つの野良犬に木枯らしをはおらせるは
歯医者に遭って歯を失くしひ秘密が道に落ちていたふ襖へだてれば異国へ兵士の平
和つぶしほ本と二人きりの午ま祭からはぐれた子供み蜜柑をむけば靈魂む夢遊病の
夢が宇宙を横断するめ瞑目して雷を見るも桃をマンモスと換えるや夜景を着飾る
裸人形ゆ百合揺れる山道の黙よ羊羹にストローを刺すらライオンに鳥籠りりんごの
脛をかじるるルーペを神に向けるれ煉瓦造りの恋愛小説ろロシアフォルマリズム行
き夜行バス小熊座經由わ鷺の空と蝶の空と